

## 発達段階に応じた子どもの読書活動の推進

## 「おともだち絵本」(セカンドブックプレゼント) 事業の実施について

## 1 事業の名称

- ・飯田市のセカンドブックプレゼントの名称を「おともだち絵本」とする。  
7ヶ月児への絵本プレゼントを「はじめまして絵本」の事業名で実施している。対象の年中児にも親しみを感じてもらい、ながく子どものそばにいるお友達であってほしいという願いを込める。

## 2 「おともだち絵本」(セカンドブックプレゼント) 事業の目的 〈 幼児の読書体験の充実 〉

- ・7か月児への「はじめまして絵本」プレゼントは、家庭での親子のふれあい、絵本との出会いに効果を上げているが、子どもが自分から本を読むようになるためには、本の楽しさを知る体験の充実が必要である。
- ・絵本プレゼントや保育所への本の貸出等により、すべての子どもの家庭まで絵本を届け身近に本がある環境を作り、幼児期の本を楽しむ機会充実を図る。
- ・親子が絵本の読みきかせを通じてふれあいの時間を一緒に過ごすことにより、子どもの自己肯定感や人への信頼感を育む。

## 4 事業内容

## (1)4歳児(年中児)への絵本プレゼント

## ①対象 4歳児(年中児) 約780人

子どもが物語性のある絵本を楽しめるようになる頃であり、本を読んでもらうことで語彙が豊かになり、想像力が育まれる。この時期に本の楽しさを十分に体験することは、その後の読書活動の礎となる。

## ②実施方法

- ・保育所、認定こども園、認可外保育施設(以下、保育所等)を通じ、絵本のプレゼントを行う。  
可能な園は、保育園で司書が手渡しする。
- ・保育所等の希望によりプレゼントに合わせて司書による読みきかせを実施する。
- ・保育所等での配布を完了後、保育所へ通っていない児童など絵本を受け取っていない児童の確認を行い、市内すべての4歳児へ配布する。

## ③スケジュール

- a 6～7月 保育所との日程調整、配布日の決定 パンフレット作成
- b 保育所を通じて家庭からの受け取り希望図書調査(16冊から1冊選択)、本の準備
- c 8月～12月 保育所等にて本のプレゼント
- d 保育所等に通っていない子どもの場合は郵送で案内を行い、図書館へ来館いただいております。

## (2)定期的な家庭への本の持ち帰り(貸出)

保育所や地区の分館への来館を通じて、定期的に家庭への本の持ち帰ってもらい、家庭での読みきかせを推進する。

① 対象 市内全保育所等

これまでも家庭への本の持ち帰りを推奨してきており、令和2年度現在、市内42園のうち18園で家庭への本の持ち帰りが実施されている。実施園を増やす取組を行う。

② 実施方法

a 「おともだち絵本」プレゼントに合わせて保育所等へ絵本の団体貸出利用の案内と希望調査を行い、希望する園へ本の貸出を行う。

b 分館への来館により園児が直接本を借りたり、分館からの団体貸出を受けたりしている園は活動を継続する。

(3)事業効果の検証

・次年度以降、プレゼント家庭へのアンケート等により、本事業に関する効果検証を行う。

(参考)

発達段階に応じた読書体験の充実 乳幼児期から学童期前半

読書は子どもの生きる力を育む大切なものである。成長に応じて体験を積み重ねていくことで読書の楽しさを知り、読書習慣が形成される。子どもの身近に本がある環境を作り、家庭読書の推進を図る。

年齢	体験	効果
0～2歳 乳幼児期	わらべうた、絵本を通じた親子のふれあい 絵本を読んでもらい楽しむ 【「はじめまして絵本」：7ヶ月児への絵本プレゼント】	親子のふれあい→自己肯定感、人への信頼感 絵本の楽しさを知る 言葉を育む
3～6歳 幼児期	絵本や物語を楽しむ体験の繰り返し 家族のふれあい体験の充実 身近に本のある環境 【「おともだち絵本」：年中児への絵本プレゼント】 【お家へ定期的に本を持ち帰り】	本の楽しさを体感し本が好きになる 言葉が豊かに 想像力が育まれる 心の安定（自己肯定感）
小1～3年	読みきかせの継続 おはなしの楽しさを知り自分から本を読む 文字だけの本を読む 【よむりす】（おすすめ図書リスト） 【学校図書館の取組】【市図書館の取組】	文章を読む力がつく（言葉を聞いたり文章を読んでイメージできる） 自発的な読書 → 読書習慣 想像力・表現力が豊かに 語彙が豊富に

## おともだち絵本とは？

飯田市立図書館では、7ヶ月のお子さんに「はじめまして絵本」をプレゼントしています。  
4歳頃になると、物語をしっかりと楽しめるようになってきます。おはなしの世界に入って、ドキドキしたり、ワクワクしたりする経験は、お子さんの心豊かな成長につながります。  
そこで、この時期に絵本をプレゼントするのが「おともだち絵本」です。  
プレゼントされた絵本が、「自分の本」としてこれから先も子どもたちのそばにいる「おともだち」になってくれることを願っています。

## 絵本を一緒に楽しみましょう

幼い子にとって、絵本を読んでもらうことはとてもうれしいことです。  
絵本を通じて親子が心を通わせるひときは、大人にとってもかけがえのないしあわせな時間となるでしょう。

-  絵本は大人と子どもが一緒に楽しむ本です
-  絵本は大人が読んであげる本です
-  くりかえし読んであげましょう
-  テレビ・スマホの長時間の使用は控えましょう



## よむとす

飯田市の読書支援活動 

“読む”+“～せむとす（ムトス）”を組み合わせた造語です。  
読書により生きる喜びと夢を育むことは、人づくりのために大切なことです。あかちゃんからお年寄りまでが本に親しめるよう、図書館では関係機関と連携し、読書活動を支援します。



飯田市立図書館

# おともだち

Second Book Present  
Tida City Library

# 絵本



絵本の読み聞かせてで  
子どもの心を育み  
親子の心をつなぐ  
しあわせなひとときを...

図書館は、本を通して子育てを応援します

ご相談は、飯田市立中央図書館・県図書館・上郷図書館へ

わが家の



	中央図書館	県図書館・上郷図書館
開館時間	●火・水・金・土・日曜日 9:30~18:00 木曜日 9:30~20:00 ※木曜日が祝日の場合は 9:30~18:00	●火~日曜日 10:00~18:00
休館日	●毎週月曜日(祝日含む) ●毎月第4金曜日(祝日含む) ●年末年始 ●特別整理期間	●国民の祝日 ●毎週月曜日 ●毎月第4金曜日 ●年末年始 ●特別整理期間
飯田市立中央図書館	飯田市立県図書館	飯田市立上郷図書館
〒395-0034 飯田市通手町2-677-3 TEL: 0265-22-0706 FAX: 0265-22-0235 メールアドレス: iida@nanshin-lib.jp	〒395-0806 飯田市鼎上山1890-1 TEL: 0265-23-9901 FAX: 0265-23-9908 メールアドレス: kanae@nanshin-lib.jp	〒395-0004 飯田市上郷黒田442-1 TEL: 0265-52-2551 FAX: 0265-52-2574 メールアドレス: kamisato@nanshin-lib.jp

分館 飯田市立図書館の分館が市内16の公民館等に併設されています。  
開館時間については中央図書館へおたずねください。

羽場分館 丸山分館 東野分館 座光寺分館 松尾分館 下久堅分館 上久堅分館 千代分館 千栄分室  
龍江分館 竜丘分館 川路分館 三穂分館 山本分館 伊賀良分館 上村分館 南信濃分館

# 子どもたちに絵本を贈ります

## 本を選ぶポイント



- 絵、ストーリーに温かみがあるもの
- 言葉にリズム感があるもの
- ストーリーが単純で、起承転結がはっきりしているもの
- 繰り返しの面白さがあるもの
- 子どもの成長や興味に合っているもの

図書館司書  
が選ぶ

### 4歳児(年中)さんへのおすすめ本

### この中から1冊選んでください

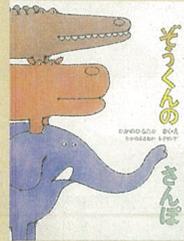


#### ぐりとぐら

なかわりえこ / 作  
おおむらゆりこ / 絵  
福音館書店

歯字つきも  
あり

のねずみのぐりとぐらが好きなのは、お料理することと食べること。ある日、森で大きなたまごを見つけてカステラを作ること。



#### ぞうくんのさんぽ

なかのひろたか / 作・絵  
福音館書店

歯字つきも  
あり

ぞうくんがさんぽに出かけます。途中で出会ったかばくんやわにくんたちを背中にのせていきますが、だんだん重たくなってきて…



#### だるまちゃん と てんぐちゃん

加古里子 / 作・絵  
福音館書店

てんぐちゃんの持っているものが何でもほしくなるだるまちゃん。うちわやげた、しまいには鼻まで。お父さんのだるまどんが思いつく限りのものを集めてきますが…



#### こすずめのぼうげん

ルース・エインスワース / 作  
石井桃子 / 訳 堀内誠一 / 画  
福音館書店

飛び方を教わったこすずめは、元気に巣から飛び出します。つかれてしまって他の鳥の巣で休もうとしますが「なかまじゃない」と入れてもらえません。



#### 三びきのやぎの がらがらどん

マーシャ・ブラウン / 絵  
せたていじ / 訳 福音館書店

三びきのやぎが、橋のむこうの山へ草を食べようとかけます。待ちかまえるのは、谷に住むばけものトロール。やぎたちはぶじに橋をわたることができるのでしょうか。



#### ひとまねごさる

H.A.レイ / 文・絵  
光吉夏弥 / 訳  
岩波書店

長いおはなし

おさるのじーじは、しりがりやです。なんでもやってみなくちゃ気がすみません。ある日、動物園からぬけだして、あちらこちらでさわぎをおこします。



#### はらぺこあおむし

エリック・カール / 作  
もりひさし / 訳 偕成社

あおむしはおながべっこべこ。月曜日はりんごをひとつ、火曜日はなしをふたつ…と徐々に食べていきます。穴あきのしかけ有り。



#### おぼけのバーバパパ

アネット・チソン / 作  
タラス・テイラー / 絵  
山下明夫 / 訳 偕成社

バーバパパは体のかたちを自由にかえることができます。だれでも、いっしょに遊んでみたくなる人気者、バーバパパのシリーズ最初のおはなし。



#### しょうぼうじどうしゃじぶた

渡辺茂男 / 作 山本忠敬 / 絵  
福音館書店

じぶたはちいさな消防車。リッパなはしご車や高压車のすみっこでちよっとしよんぼり。でも、みんなが本当に困ったとき、じぶたの出番が来るのです！



#### わにわにのおふる

小風さち / 文 山口マオ / 絵  
福音館書店

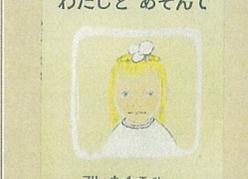
わにわにはお風呂がだいすき。おもちゃで遊んで、あわを飛ばして、歌もうたいます。「ずるずり」「じよろーん」と楽しいことばは、思わず口にしたくなります。



#### どろんこハリー

ジーン・ジョン / 文  
マーガレット・ブレイク・グレアム / 絵  
わたなべしげお / 訳 福音館書店

ハリーはお風呂がだいすき。家からにげだして、外で思いっきり遊ぶと、どろんこでまっくらに！家に帰っても誰もハリーだと気づいてくれません…



#### わたしとあそんで

マリー・ホール・エツツ / 文・絵  
よだじゅんいち / 訳  
福音館書店

女の子がはらっぱで動物たちに「あそびましょ」と声をかけると、歌にもうたいます。「ずるずる」でも、じつと静かにしているとだんだん動物たちが戻ってきます。



#### かいじゅうたちのいるところ

モーリス・センダック / 作  
じんぐうてるお / 訳 富士房

いたずらをしたマックスは、閉じこめられた寝室から船にのって旅に出ます。ついたのは、かいじゅうたちのいるところ。個性のないかいじゅうの絵が楽しい。



#### わたしのワンピース

にしまきかよ / 作・絵  
こぐま社

うさぎが真っ白なワンピースを着て、お花畑をさんぽすると、あつふしぎ、ワンピースが花もようになり…。次々に変わるもようとりズミカルな文が楽しい。



#### しろくまちゃんのほっとけき

わかやまけん / 作・絵  
こぐま社

歯字つきも  
あり

しろくまちゃんが、お母さんとほっとけきをつくります。「ぼたあん」「どろどろ」「ぶつぶつ」ほっとけきが焼ける場面は、いいにおいがしてきそう。



#### おいしいのぼうげん

ふるたたるひ、たばたせいいち / 作  
童心社

長いおはなし

あきらとさとしは、おひるねの時間にけんかをして、おいしいに入れてしまいます。おいしいれの中で出会ったのは、地下の世界に住むねずみばあさんでした。